

科目名	地域社会活動			科目コード G11058
学年・学科等名	全 学年	全学科	選択科目	
単位数・開講期	1 単位			
総時間数				
担当教員	各担任, 当該窓口担当教員			
本校の教育目標	4	一般人文科の教育目標	3.4	
JABEE対象外				
教科書名				
補助教材				
参考書				

A. 教育目標

地域社会活動を通じて実社会の生きた知識や知恵を学ぶことで、実践的研究開発型技術者を目指す糧とする。

B. 概要

地域社会活動を通じて、実社会の生きた知識を身に付け、地域社会に貢献することの意義を理解することを目的とし、実働による地域社会貢献を到達レベルとする。

C. 学習上の留意点

地域社会活動にあたっては、地域社会活動の役割や意義を十分に理解した上で、高専生として誇りある活動を常に心がけ、その行動や言動に責任を持ち、礼節を守ること。また、活動にあたっては、安全面及び心身の健康状態に十分に注意して臨むこと。

所定の「地域社会活動報告書」および「地域社会活動証明書」またはそれに替わる書類で30 時間以上の活動を行ったことを確認することにより、達成を評価する。

地域社会活動により「態度・志向性(人間力)」の主体性、責任感、チームワーク、倫理観を評価するものとする。なお、前年度において対象となる地域社会活動に参加した学生については、その活動時間(30時間に満たない時間)を本年度の活動時間に合算した累計活動時間として確認を受けることができることとする。

D. 学習到達目標

学習到達目標								
到達目標	地域貢献活動の役割や意義を十分理解した上で、高専生として誇りをもって活動ができる。							
ルーブリック評価	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安			
到達目標項目	地域社会活動の役割や意義を十分に理解し、その行動や言動に責任を持ち、礼節を守ることができる。	地域社会活動の役割や意義を十分に理解している。			地域社会活動の役割や意義を十分に理解していない。			
達成度評価(%)								
評価方法	試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品実技	ポートフォリオ	その他(研修報告書)	合計
指標と評価割合								
総合評価割合							100	100
基礎的能力								
専門的能力								
分野横断的能力							100	100

E. 授業計画

講義の明細(地域社会活動単位取得に係る手続きの流れ)		
授業内容	具体的な行動達成目標	自己点検
活動開始前 1)履修願の提出 2)事前の学習活動	1)履修を希望する場合は、「地域社会活動履修願」を担当教員に提出すること。 2)地域社会活動への参加や関係文献による学習等により、地域社会活動の果たす役割や意義について事前に十分に理解しておくこと。	
活動開始に係る手続き 1)活動届の提出 2)災害保険契約締結	1)指定書式の「地域社会活動届」を事前に担当教員に提出すること。 【対象となる地域社会活動】 ①学生委員会またはその他本校教員が計画して実施する地域社会活動 ②地方公共団体等の公的機関が主催する地域社会活動 ③その他参加希望があった活動のうち学生委員会が承認した地域社会活動 2)災害復興のための活動等の危険を伴う活動に従事する場合は、必ず地域社会活動保険に加入すること。また、それ以外の活動についても同様に、地域社会活動保険に加入しておくことが望ましい。	
地域社会活動の実施 1)活動の実施 2)活動証明書の作成	1)心身の健康状態に十分に気を付けた上で、高専生として誇りある活動を常に心がけ、行動や言動に責任を持ち、礼節を守って活動を行うこと。また、活動中に事故があった場合等、不測の事態に際しては速やかに学校へ連絡すること。 2)所定の「活動証明書」に活動した日時及び活動内容を記入し、受入機関の担当者に内容の確認及び証明を依頼すること。	
活動終了後 1)活動証明書の提出 2)活動報告書の提出	1,2)活動終了後速やかに、所定の「活動報告書」を作成し、上記の「活動証明書」と一緒に担当教員に提出すること。	
地域社会活動総時間数		30 時間以上

F. 関連科目

全科目